

TAINS 無線 LAN システム ゲストアカウントによる接続方法

【Windows 10 の場合】

東北大学情報シナジー機構では、学内の既存のアカウントを有しない構成員の方や学内からのゲストの方に、TAINS 無線 LAN システムのアクセスポイントにのみ対応した一時的なアカウント（以下「ゲストアカウント」）を提供しています。

このマニュアルでは、すでにゲストアカウントを取得している方を対象として、TAINS 無線 LAN システムに接続する方法をご案内します。

【接続に必要な情報】

SSID	eduroam	
AP への接続	認証	IEEE802.1X
	セキュリティの種類	WPA2 エンタープライズ
	暗号化の種類	AES
ID (ユーザ名)	詳細は【ID とパスワードについて】の項をご覧ください。	
パスワード	詳細は【ID とパスワードについて】の項をご覧ください。	
認証方式	PEAP / MSCHAPv2	

【ID とパスワードについて】

ゲストアカウントの利用を希望する方は、最寄りの東北大 ID を持つ常勤の教職員（代表者）を通してゲストアカウントを申請します。利用者ご自身からは申請できません。

申請すると、代表者を通じて以下のゲストアカウントが付与されます。

ID (ユーザ名) : **xxxx9999@guest.tohoku.ac.jp**

「xxxx」は、代表者が申請時に指定するか自動的に設定された任意の半角英数字 1~4 文字です。

「9999」は、代表者が申請した希望アカウント数に応じて自動付与される連番です。

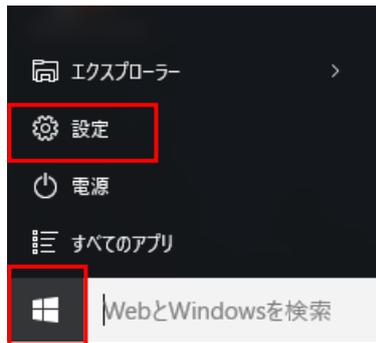
パスワード : **パスワード**

ID とあわせて自動的に付与される任意の文字列です。

ID、パスワードは変更することはできません。

【接続手順】

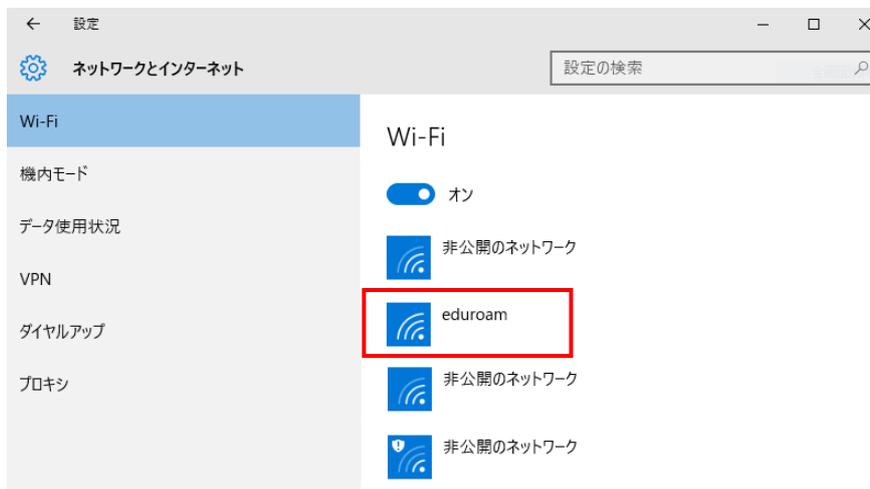
1. 「Windowsマーク」をクリックし、設定をクリックします。



2. 「ネットワークとインターネット」をクリックします。



3. 「eduroam」をクリックします。

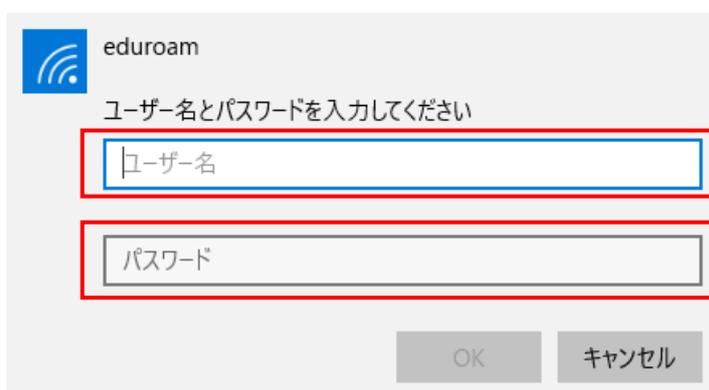


4. 「接続」をクリックします。また、「自動的に接続」をチェックした場合、無線提供エリア内では、特別な操作なく、自動的に無線 LAN へ接続されます。自動で無線 LAN へ接続したくない場合は、チェックをはずしてください。

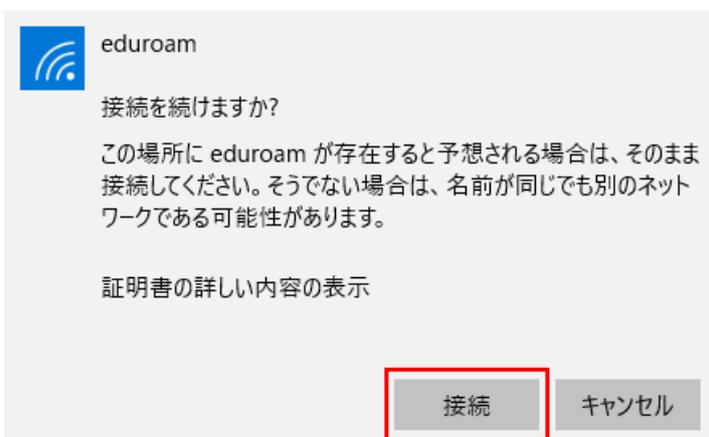


5. 接続に使うユーザー名とパスワードを入力し、「OK」をクリックします。

ユーザー名、パスワード : お持ちの ゲストアカウント (p.1 を参照)



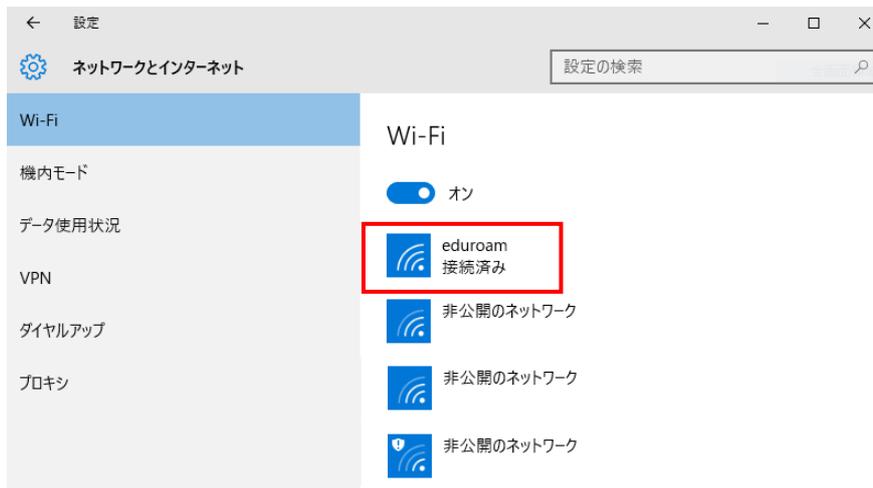
6. 「接続」をクリックします。



【補足】

- ・ 上記画面が表示されず、接続ができない場合は、接続に必要なルート証明書がインストールされていない可能性があります。Internet Explorer を起動し、「ツール」→「インターネットオプション」→「コンテンツ」タブ→「証明書」→「信頼されたルート証明書機関」の順に進み、発行先: "Security Communication RootCA2"があるかを確認して下さい。証明機関が存在しない場合には、ルート証明書をインストールして下さい。

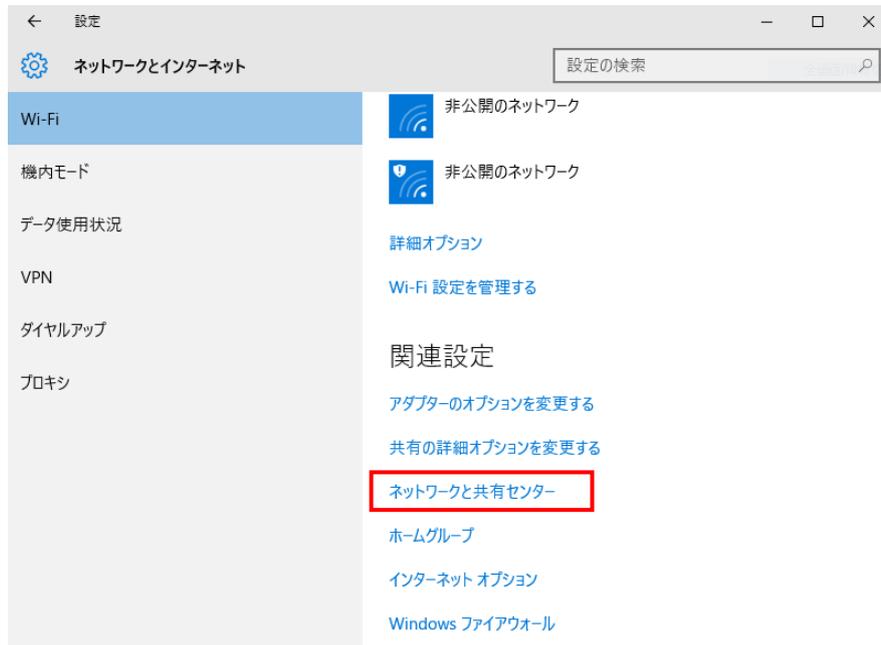
7. 「eduroam」が「接続済み」となっていれば、接続完了です。



【手動設定】

基本的には、事前の設定を行うことなく「接続手順」を行うことでご利用頂けますが、接続できない場合に以下の手順をご覧ください。

1. Wi-Fi 設定画面の下部にある、「ネットワークと共有センター」をクリックします。



2. 「新しい接続またはネットワークのセットアップ」をクリックします。

ネットワーク設定の変更



新しい接続またはネットワークのセットアップ

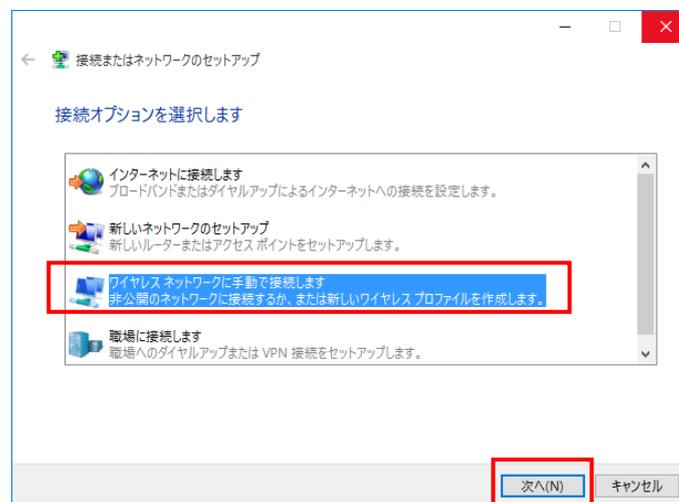
ブロードバンド、ダイヤルアップ、または VPN 接続をセットアップします。あるいは、ルーターまたはアクセス ポイントをセットアップします。



問題のトラブルシューティング

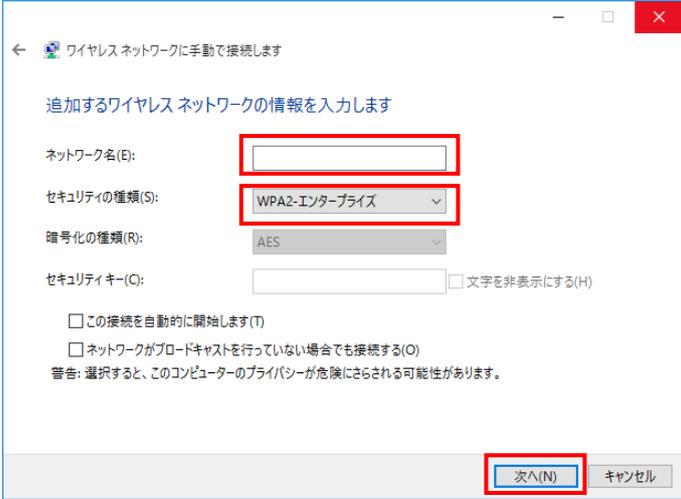
ネットワークの問題を診断して修復します。または、トラブルシューティングに関する情報を入手します。

3. 「ワイヤレスネットワークに手動で接続します」を選択して、「次へ」をクリックします。



4.新たな無線ネットワークの情報を以下のとおりにに入力、または選択し、「次へ」をクリックします。

ネットワーク名 : eduroam
セキュリティの種類 : WPA2-エンタープライズ
暗号化の種類 : AES (自動で設定され、変更できません)



ワイヤレス ネットワークに手動で接続します

追加するワイヤレス ネットワークの情報を入力します

ネットワーク名(E):

セキュリティの種類(S): WPA2-エンタープライズ

暗号化の種類(R): AES

セキュリティキー(C): 文字を非表示にする(H)

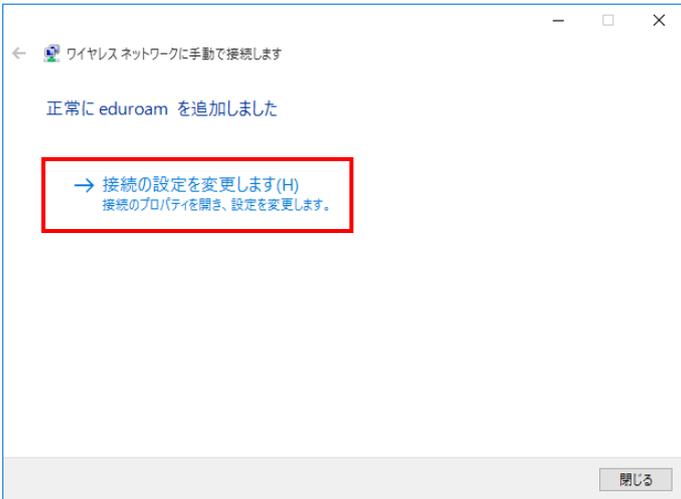
この接続を自動的に開始します(T)

ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する(O)

警告: 選択すると、このコンピュータのプライバシーが危険にさらされる可能性があります。

次へ(N) キャンセル

5. 追加された無線ネットワークの設定値を変更しますので、「接続の設定を変更します」をクリックします。



ワイヤレス ネットワークに手動で接続します

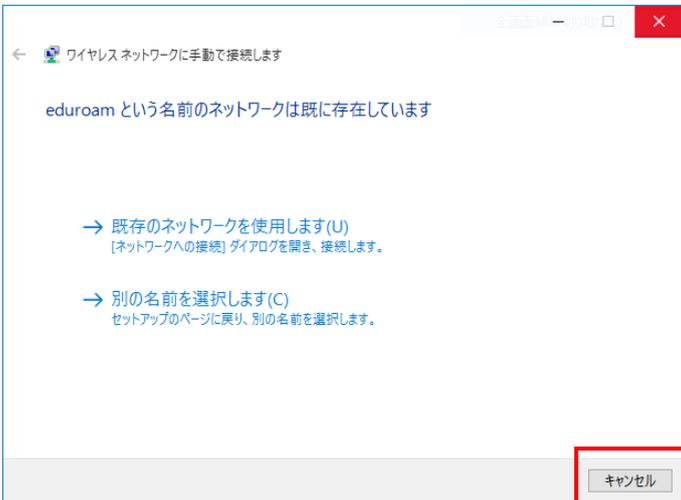
正常に eduroam を追加しました

→ 接続の設定を変更します(H)
接続のプロパティを開き、設定を変更します。

閉じる

※下図のように表示された場合は、設定が存在しているため以下の手順で削除する必要があります。

「キャンセル」をクリックします。



ワイヤレス ネットワークに手動で接続します

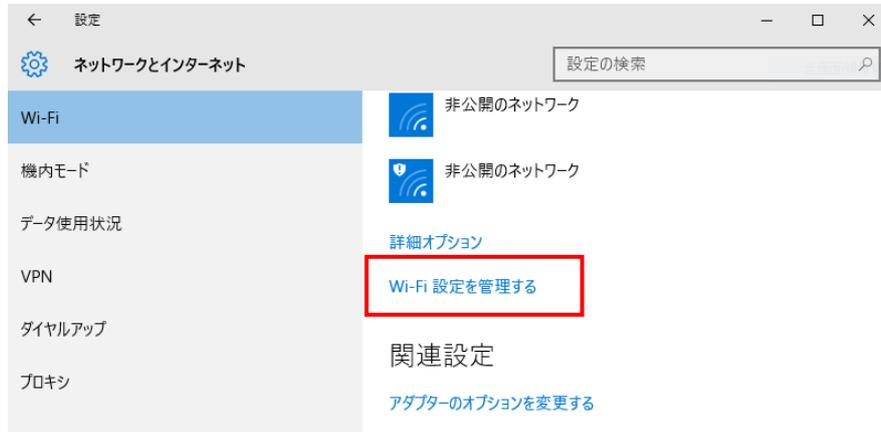
eduroam という名前のネットワークは既に存在しています

→ 既存のネットワークを使用します(U)
[ネットワークへの接続] ダイアログを開き、接続します。

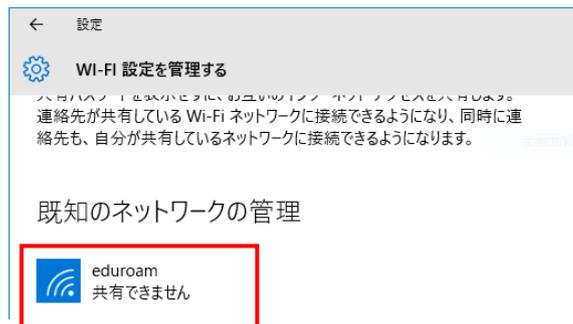
→ 別の名前を選択します(C)
セットアップのページに戻り、別の名前を選択します。

キャンセル

Wi-Fi 設定画面で「Wi-Fi 設定を管理する」をクリックします。

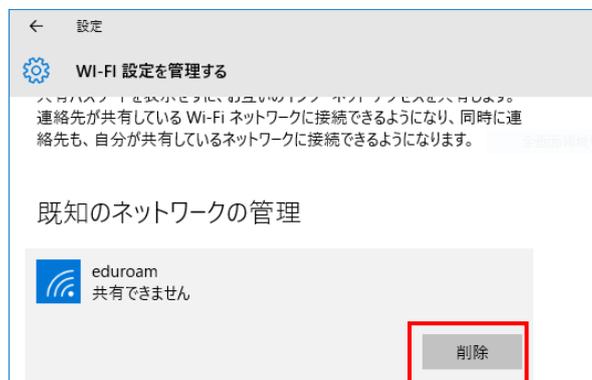


「eduroam」をクリックします。

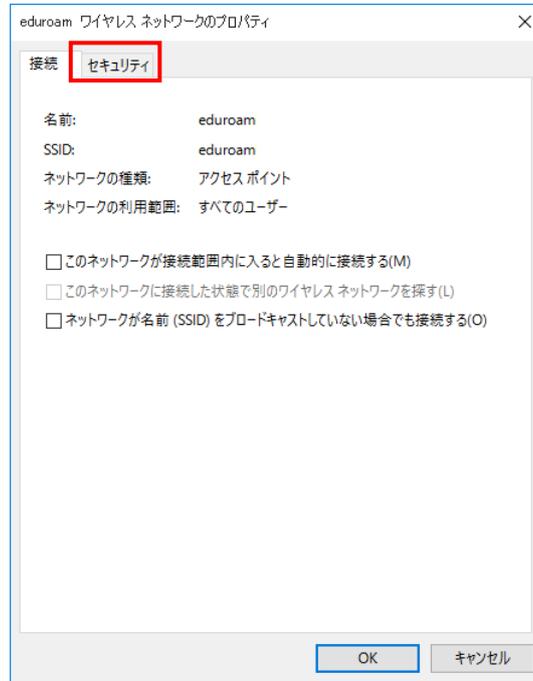


「削除」をクリックします。

既存設定を削除できたので、手動設定を最初から実行します。



6. 「接続」タブ右側の「セキュリティ」タブをクリックします。



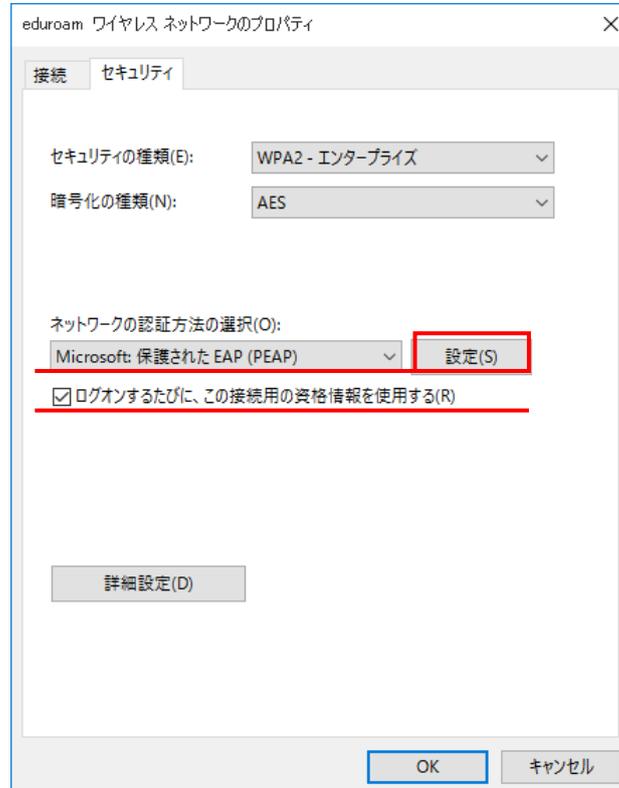
7. 「セキュリティ」タブ上の項目を以下のとおりに入力、または選択し、「設定」をクリックします。

ネットワークの認証方法の選択

: **Microsoft: 保護された EAP (PEAP)**

ログオンするたびに、～ : ※

※ : ユーザー名とパスワードが保存して次回以降のユーザー名とパスワードの入力を省略したい場合はチェックを入れます。



8. 「保護された EAP のプロパティ」上の項目を以下のとおりに入力、または選択し、「構成」をクリックします。

- 証明書を検証してサーバーの ID を検証する : チェックする
- 信頼されたルート証明機関 : 「Security Communication RootCA2」をチェックする
- 認証方法を選択する : セキュリティで保護されたパスワード(EAP-MSCHPAv2)
- 高速再接続を有効にする : チェックしない

保護された EAP のプロパティ

接続のための認証方法:

証明書を検証してサーバーの ID を検証する(V)

次のサーバーに接続する (例: srv1、srv2、.*%srv3%.com)(O):

信頼されたルート証明機関(R):

Microsoft Root Certificate Authority 2010

Microsoft Root Certificate Authority 2011

Security Communication RootCA1

Security Communication RootCA2

Symantec Enterprise Mobile Root for Microsoft

Thawte Premium Server CA

Thawte Timestamping CA

接続前の通知(T):

サーバーの ID を検証できない場合にユーザーに通知します

認証方法を選択する(S):

セキュリティで保護されたパスワード (EAP-MSCHAP v2) 構成(C)...

高速再接続を有効にする(F)

サーバーに暗号化バイン드의 TLV がない場合は切断する(D)

ID プライバシーを有効にする(I)

OK キャンセル

9. 「EAP-MSCHAPv2 のプロパティ」上の項目を以下のとおりに、選択し、「OK」をクリックします。クリックした後、手順 7 の画面に戻ります。

Windows のログオン名とパスワード～ : チェックしない

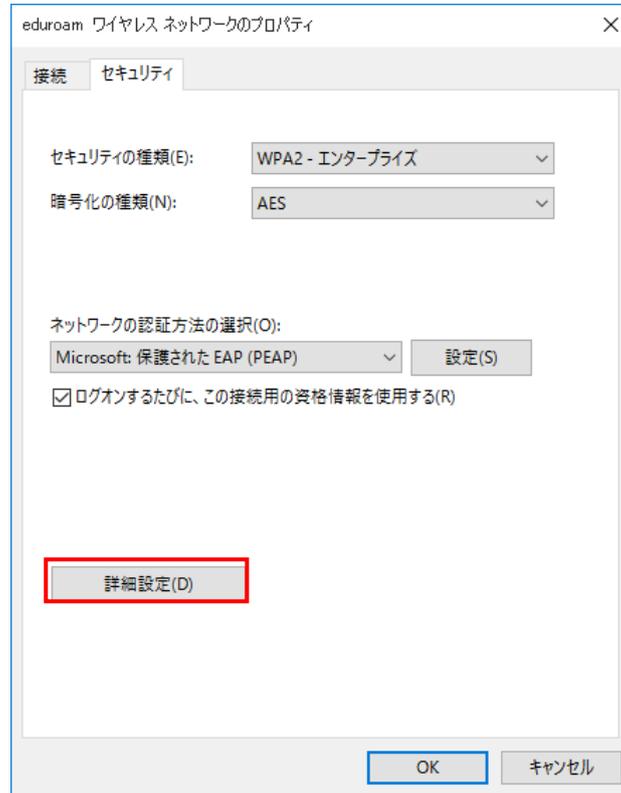
EAP MSCHAPv2 のプロパティ

接続のための認証方法:

Windows のログオン名とパスワード (およびドメインがある場合はドメイン) を自動的に使う(A)

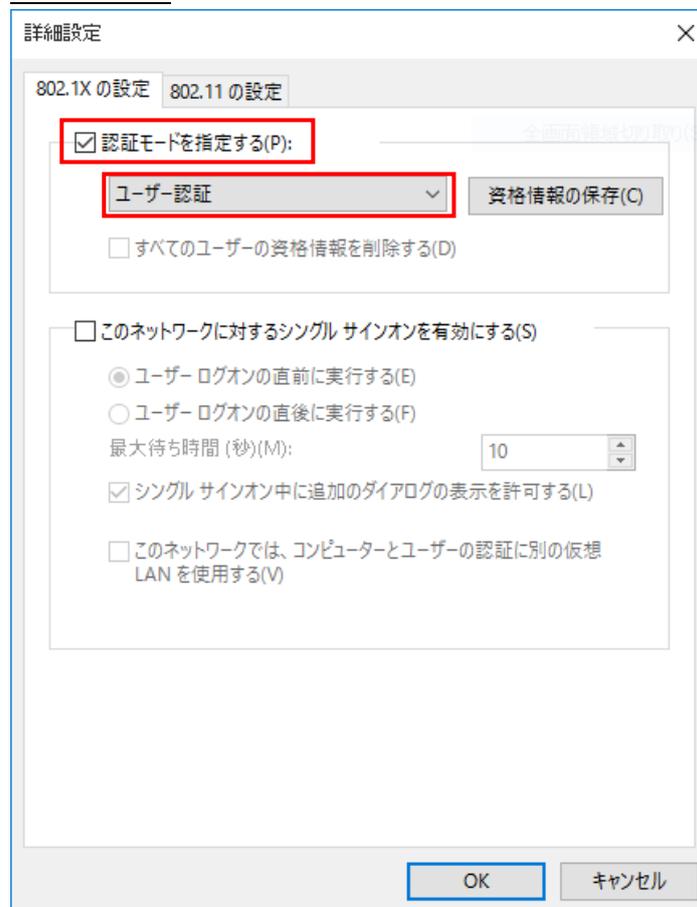
OK キャンセル

10. 手順 7 の画面に戻りますので、「詳細設定」をクリックします。



11. 「802.1X の設定」上の項目を以下のとおりに選択し、「OK」をクリックします。

認証モードを指定する：ユーザー認証



12. 手順 10 の画面に戻りますので、「OK」をクリックして設定は完了です。